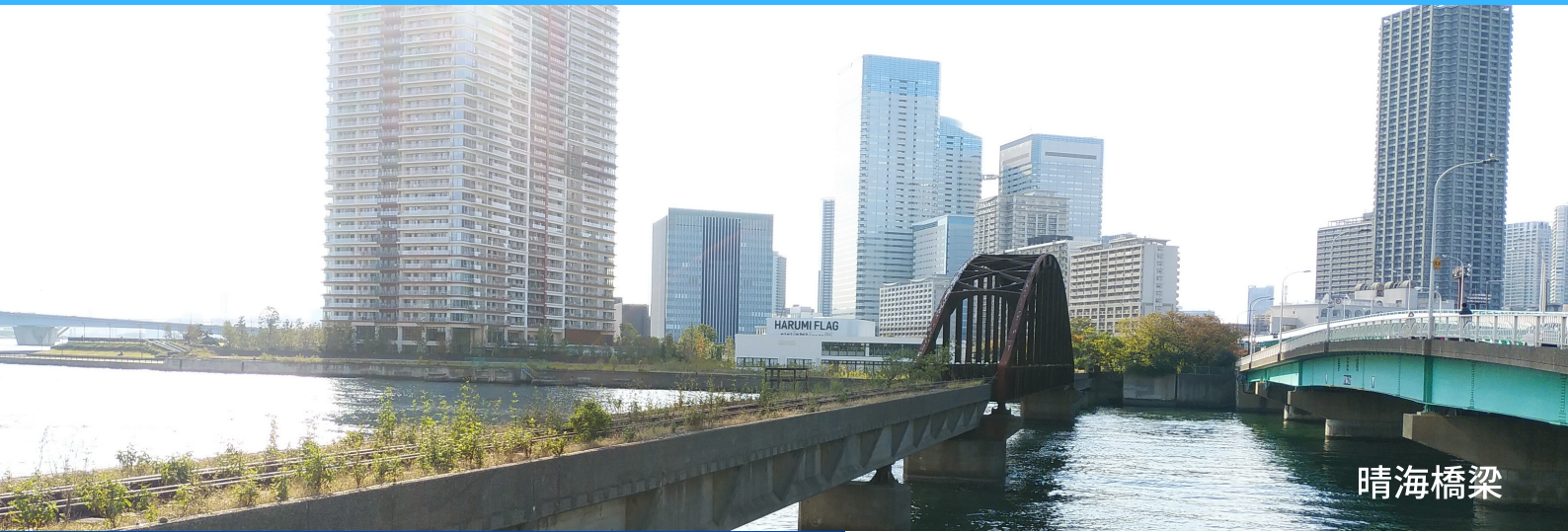




Global Communication
ってどんな授業？



晴海橋梁

SHIBAURA探究の目的

探究型授業で未来創造力 理工系の知識で社会課題を解決

100年近い歴史を持つ本校では、変えないもの、変わらないものがある一方で、変えるもの、新しくスタートさせるものがあります。

予測のつかない速さで変化を続ける、今の社会に対応できる人材を育成するためには、学校も常に変化していく必要があるからです。（本校HP）

GCの目的

グローバル社会で活躍するエンジニアを育成

国際性のみでなく多様性を前提とした思考のできる生徒を育てます。

また、コミュニケーションスキルを身につけるとともに、ホームルームや教科連動で社会課題の解決を目指します。（本校HP）

GC副題

「セカイ」を発見して 「ミライ」を創る能力を養う

「本校のPBL学習は、生徒が身の回りや社会、世界の課題“本質的な問い”を“自分ごと”として捉え、興味・関心・情熱をもって、他者と協働し、複数の案を用意し、生徒間での分析と批評を重ね、発表を行う学習です。教師は、学問的な厳密さや真正さ、社会とのつながりなどを支援します。PBL学習を繰り返し経験することで、想像力・創造性・探究心を育みます。真にグローバルに活躍する人に、世界との架け橋になれるよう、レポート・プレゼンに留まらず、ポスターセッションや生徒の創造性を尊重した様々な表現方法を体験します。（本校HP）

中1 1学期 TOYOASOBI

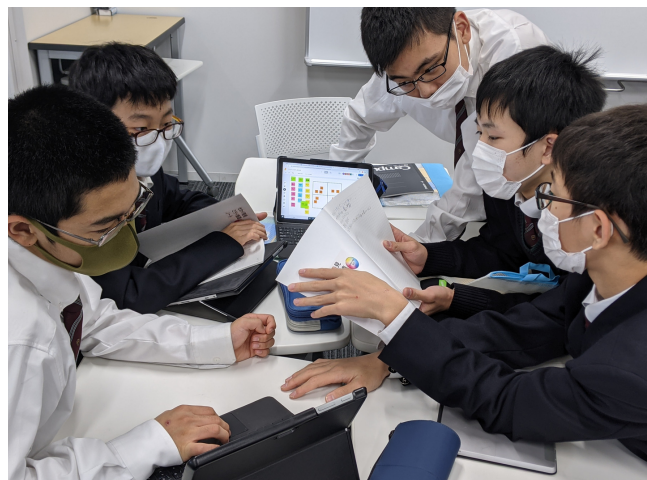
ミッション：TOYOSU解剖図鑑を作ろう
 問い：私たちはどのような場所と時代にいるのか
 TOYOSUを伝えよう



オリエンテーション	テーマ1	探究とは？GCとは？
	テーマ2	SDGsってなんだろう？
TOYOASOBI1	テーマ3	豊洲を歩こう！_TOYOASOBI探QMAP
TOYOASOBI2	テーマ4	歩いてみて…
	テーマ5	解剖図鑑のつくりかた
TOYOASOBI3	テーマ6	海から豊洲を見にいこう！_スカイダック
TOYOASOBI4	テーマ7	IHIに行ってみよう！
TOYOASOBI5	テーマ8	湾岸エリアの企業をたずねよう！
探究DAY	テーマ9	TOYOSU解剖図鑑を自慢しよう！_探究発表会
夏の課題		プチSDGsに取り組もう！

中1 2学期 EDOMONO

ミッション：江戸の伝統工芸品のミライを考える
 問い：その技をミライへつなぐためのアイデアを考えよう



中1 3学期 Our SDGs3

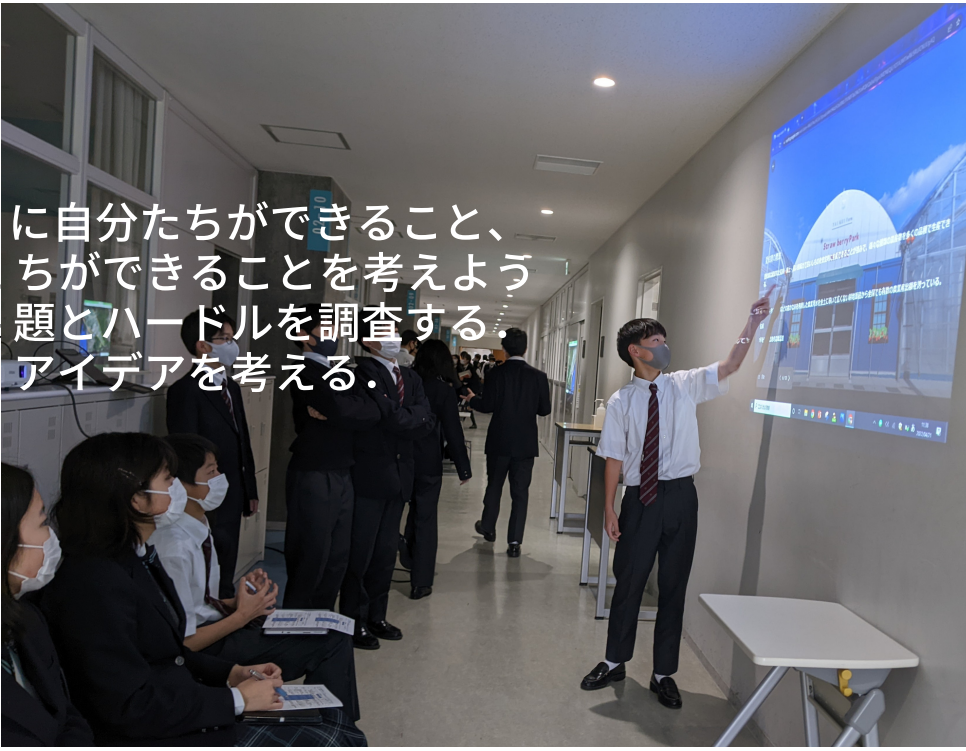
ミッション：ミライへの決意を形にする
 問い：来年の中学1年生に決意を伝えよう



中2 1-2学期 KOKOJIMAN

ミッション：地域振興のため
10年後の自分た
問い：各地域の振興策から課
それを解決するための

に自分たちができること、
ちができていることを考えよう
題とハードルを調査する。
アイデアを考える。



中学1年

「湾岸プロジェクト」× インプットの調べ学習

中学2年

「日本プロジェクト」× 自分の探究テーマ

中学3年

「世界プロジェクト」× Globalな探究テーマ

中1 TOYOSU & TOKYO
中2 NAGANO & JAPAN
中3 USA & WORLD
国際性+多様性

ワクワク感
協働性
発信力

生徒が自分の学びを記録する
セカイ発見シート
ミライ創造シート

「私は社会とつながっている・参加している」感覚から
「私は世界を変えられる」感覚につなげたい

自分の内的な動機を具体的なアイデアにし、高次の思考力によって世の中に働きかけ、世界を変えることが出来るという確信を持っています。自分として、知の創造者の道を歩むか、社会における実践者になるかを真剣に考える時期でもあります。(2018未来教育会議)

- 中学2年生では長野農村合宿（3泊4日）と、中学3年生では、アメリカ海外教育旅行（2週間）と組み合わせた探究プログラムを行う予定です。
- SHIBAURA探究スキルに基づき、多様な探究スキルに触れるようなプログラムと、多様なアウトプットを用いたExhibition（発表）で質の高いPBLを複数回通して、探究する姿勢とスキルを身につけます。
- 中学1年生では、Googleスライド、動画、創作物（川柳とカルタ）、中学2年生では、Google Earthプロジェクト、ポスター、パンフレット、ショート論文など多岐にわたるアウトプットを経験します。

「総合的な探究の時間」 「総合的な学習の時間」 とは？

中学校は2021年度から、高等学校は2022年度から改訂学習指導要領が実施されます。情報化・グローバル化の加速度的進展やAIの飛躍的な発達により、大きく激しく変化する社会、いわゆる予測困難な時代にあっても、子どもたちには、前向きに変化を受け止め、よりよい豊かな未来の創り手になっていくことが期待されています。子どもたちが社会の変化に対応し、生き抜くために必要な資質・能力を育み、向上させることを目的として改訂されました。

高等学校ではこれまでの「総合的な学習の時間」が「総合的な探究の時間」へ、その他「探究」と名前のつく6科目が新設されました。総合的な学習の時間と大きく変わった点は、教科や科目を超えた横断的な授業になるように、各学校における教育目標を踏まえて設定することを示した点です。さらに、指導計画の作成と内容の取り扱いにおいて配慮すべき点が挙げられています。その中で、特筆すべき2点を紹介します。

- 目標を実現するにふさわしい探究課題については、地域や学校の実態、生徒の特性等に応じて、例えば、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題、地域や学校の特色に応じた課題、生徒の興味・関心に基づく課題、職業や自己の進路に関する課題などを踏まえて設定すること。
- 学びに向かう力、人間性等については、自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえること。

総合的な学習の時間（中学）

目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、**よりよく課題を解決し**、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識・技能

(1) 探究的な学習の過程において、**課題の解決**に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、**探究的な学習のよさ**を理解するようになる。

思考力・判断力・表現力等

(2) **実社会や実生活の中から**問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

学びに向かう力・人間性等

(3) **探究的な学習**に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、**積極的に社会に参画しよう**とする態度を養う。

総合的な探究の時間（高校）

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、**よりよく課題を発見し解決して**いくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、**課題の発見と解決**に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、**探究の意義や価値**を理解するようになる。

(2) **実社会や実生活と自己との関わりから**問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) **探究**に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、**よりよい社会を実現しよう**とする態度を養う



自分は
自分でいい

幼保期



自分たちの
ことは
自分たちで
できる

小学校期



私は社会と
つながっている
参加している

中学校期



私は
世界を
変えられる

高校期



私は
知を創出する

大学・大学院期



私が私と世界を
幸せにする

社会人期

未来教育会議 人一生の育ちレポート（未来教育会議2018）